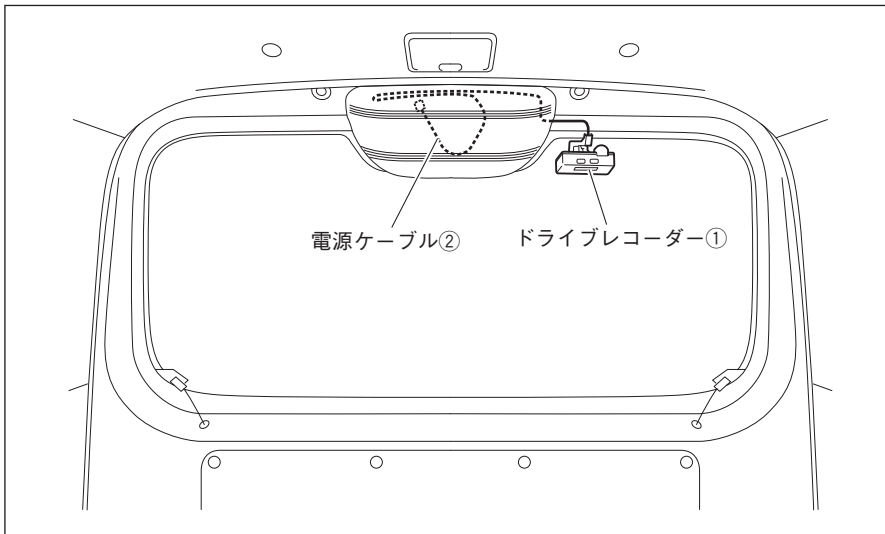
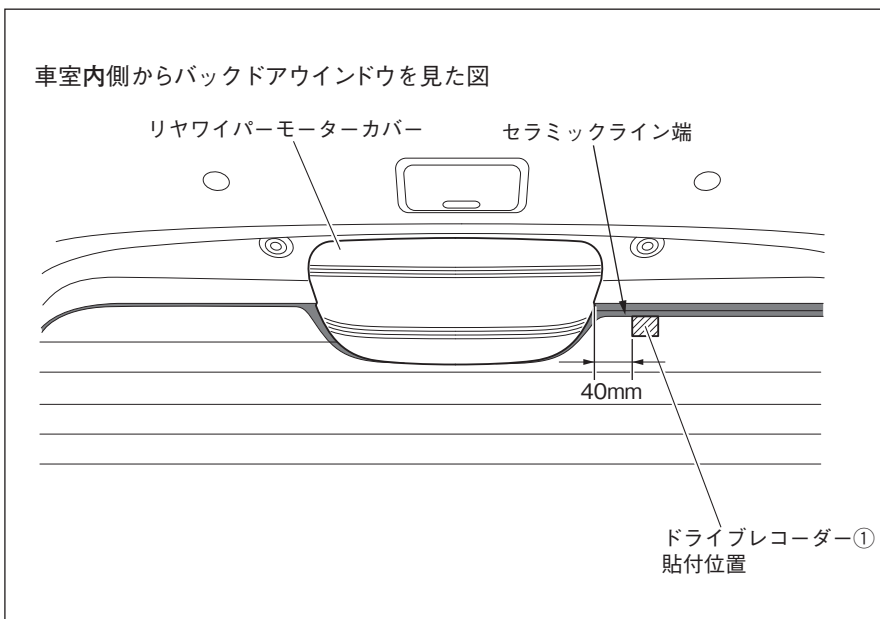


## ■ ワゴン R

### 1. 取付概要図

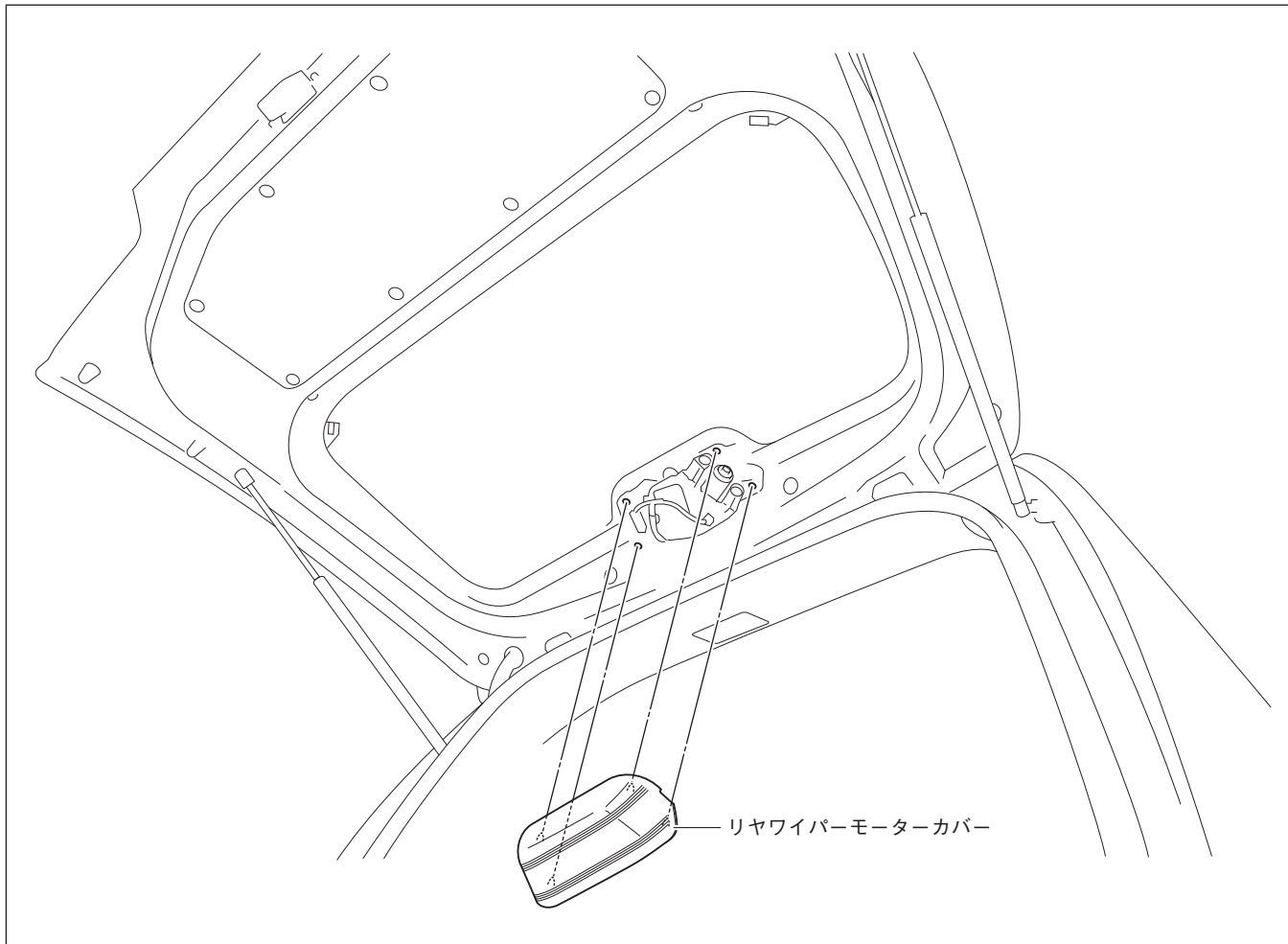


### 2. 取り付け位置



1. ドライブレコーダー①の貼付位置にマーキングをします。

### 3.車両部品の取り外し



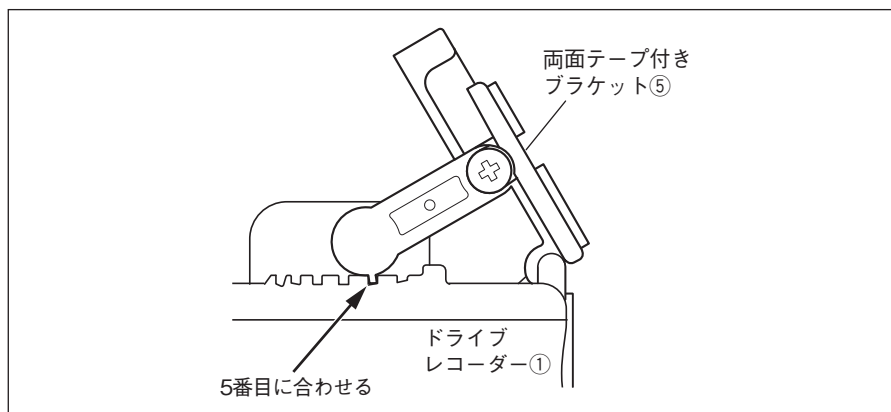
1. リヤワイパーモーターカバーを取り外します。(クリップ4箇所)

#### ▲ 注意

リヤワイパーモーターカバーは、取り外すとクリップが割れたり、欠けたりします。外観上割れ、欠け等が確認できない場合でも、白化等、外観から確認が難しいことが予想されますので、必ず新品と交換してください。  
(品番：77290-65P00 4個)

## 4. 取付要領

### a. 両面テープ付きブラケットの取り付け

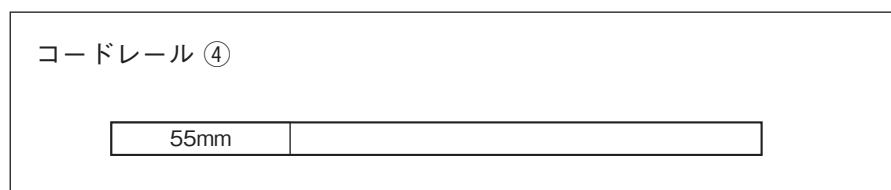


1. 両面テープ付きブラケット⑤をドライブレコーダー①に組み付け、左図の位置に固定します。

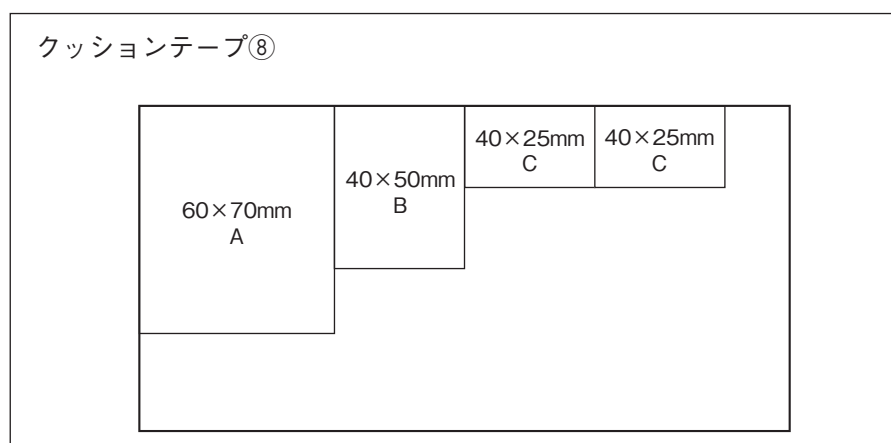
#### ⚠ 注意

両面テープ付きブラケット⑤取り付けの詳細は共通編「**■**ドライブレコーダーの取り付け」の〈両面テープ付きブラケットの取り付け〉を参照してください。

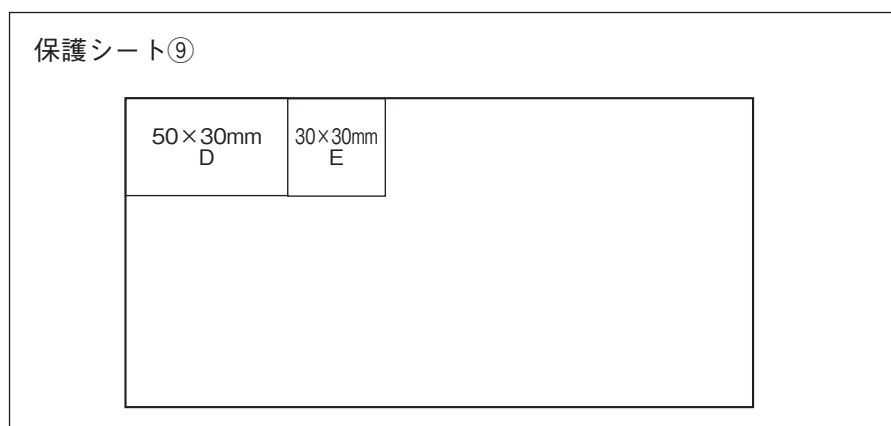
### b. コードレールとクッションテープおよび保護シートの準備



1. コードレール④を左図のようにカットします。



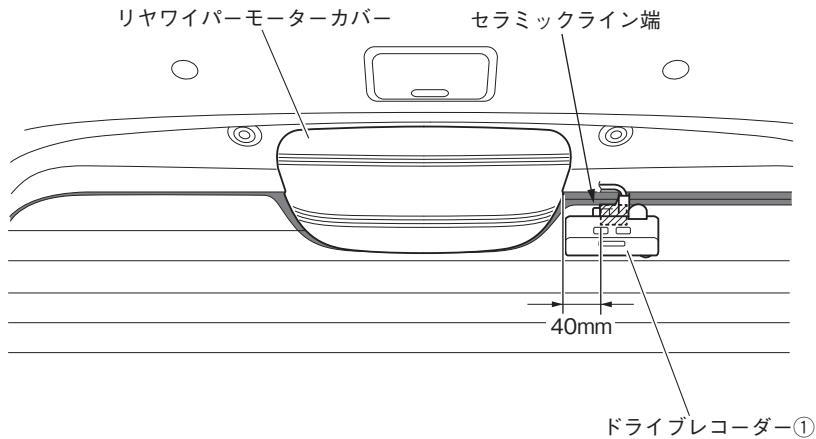
2. クッションテープ⑧を左図のようにカットします。  
A：電源ケーブル②のヒューズ巻き付け用  
B：電源ケーブル②のコネクター巻き付け用  
C：電源ケーブル②固定用



3. 保護シート⑨を左図のようにカットします。  
D：エッジ保護用  
E：エッジ保護用

### c. ドライブレコーダーの貼り付け

車室内側からバックドアウィンドウを見た図



※ 図はリアワイパーモーターカバーが取り付けられた状態を示しています。

1. 貼付面の油污れなどをきれいに拭き取ります。

#### ▲ 注意

ドライブレコーダー①を貼る面の油污れなどをクリーナー⑪できれいに拭き取ってください。汚れていると粘着力が低下し固定できなくなります。

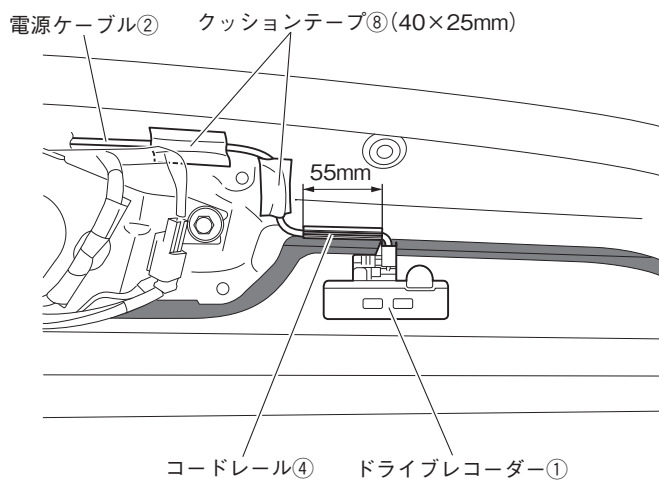
2. ドライブレコーダー①を両面テープでバックドアガラスの左図の位置に取り付けます。

#### ▲ 注意

- ・ドライブレコーダー①取り付けの詳細は、共通編の「■ドライブレコーダーの取り付け」を参照してください。
- ・リヤデフォグの熱線の上に両面テープの粘着面がかからないようにしてください。

### d. 電源ケーブルの配線

#### <リアワイパーモーター車両左側の配線>

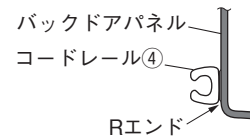


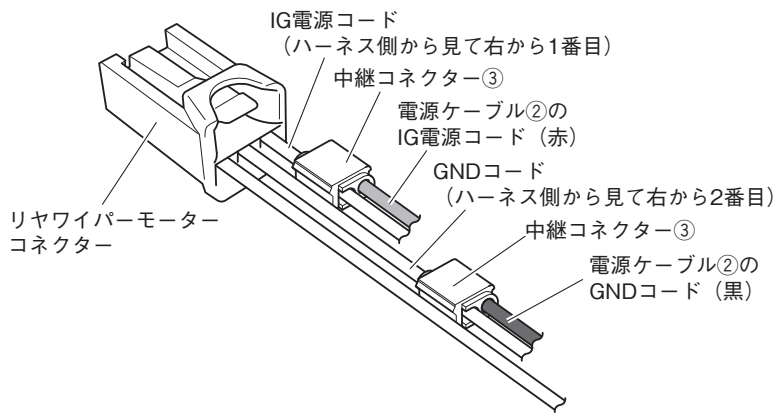
1. 電源ケーブル②を、クッションテープ⑧で固定しながら配線します。

#### ▲ 注意

- ・左図のコードレール④は、車両部品との干渉を避けるため、車両部品の復元時に取り付けをしてください。
- ・電源ケーブル②にたるみや、不足が発生しないように仮組みしてから固定をしてください。なお、コードレール④を仮組みする際は、下記の位置にしてください。

#### 断面図



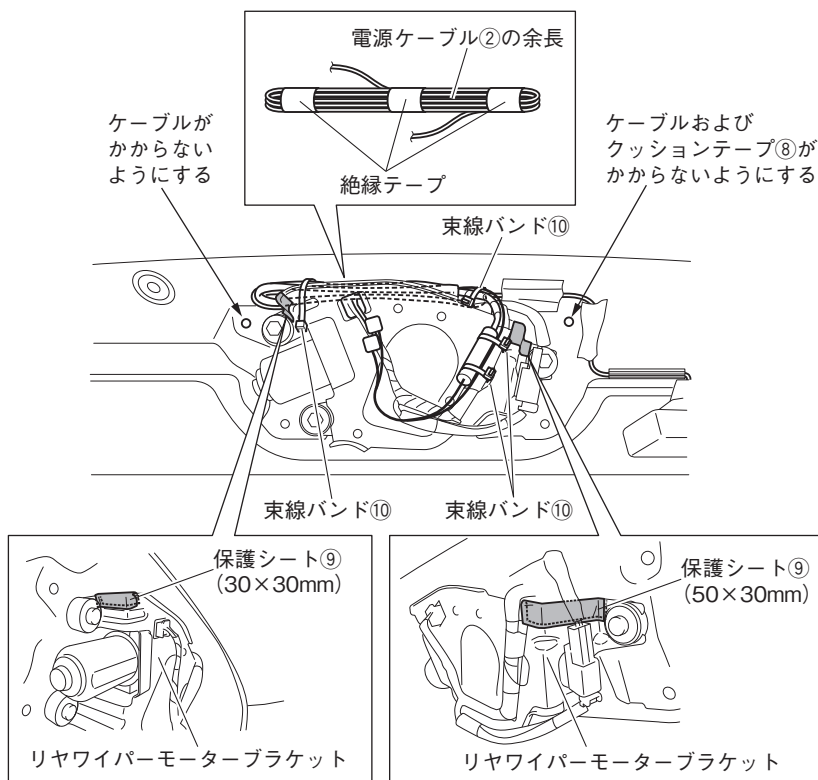


2. リヤワイパーモーターコネクタ (白色) のIG電源コードに電源ケーブル②のIG電源コード (赤色コード) を中継コネクタ③で接続します。
3. リヤワイパーモーターコネクタ (白色) のGNDコードに電源ケーブル②のGNDコード (黒色コード) を中継コネクタ③で接続します。

**⚠ 注意**

- ・2分割されている電源ケーブル②を共通編の「結線図」を参照して接続してください。
- ・電源ケーブル②の接続は、共通編の「結線図」を参照して接続してください。
- ・中継コネクタ③の接続方法は、共通編の「中継コネクタの使用方法」を参照して接続してください。

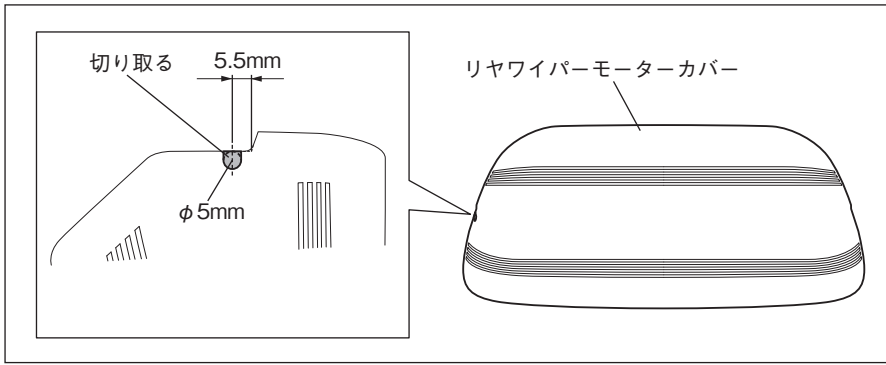
**<リヤワイパーモーター部の配線>**



4. 電源ケーブル②を、束線バンド⑩で車両ハーネスに固定し、余長は束線バンド⑩で車両ハーネスおよびブラケットに固定します。

**⚠ 注意**

- ・板金エッジ部に保護シート⑨を左図のように貼り付けてください。
- ・電源ケーブル②の余長がほどけて可動部などと干渉するのを防止するために、絶縁テープでまとめておいてください。



5. リヤワイパーモーターカバーを左図のように加工します。
6. 加工部のバリなどをヤスリ等で整えます。

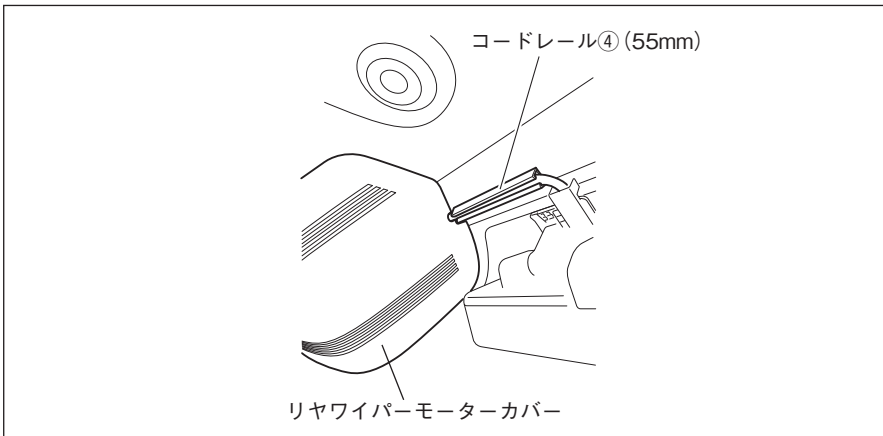
**▲ 注意**

リヤワイパーモーターカバーに傷を付けないでください。

## 5. 車両部品の復元

1. 取り外しと逆の手順で取り付けます。

- ・ 車両部品復元時に一時的に取り外した部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取り付け前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締め付けトルク等)
- ・ 取り付け作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。  
車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因になります。
- ・ オートライト機能装備車の場合は、オートライト未作動状態での点検を行ってください。



2. コードレール④を左図の位置に取り付けます。

**▲ 注意**

コードレール④がリヤワイパーモーターカバーと干渉する場合は、コードレール④の位置を調整してください。

- ネジの締め付けトルクが規定されているものがある場合は、規定のトルクで締め付けてください。